

# 既存住宅の高耐震性・省エネ性部材の新製品企画の募集について

木構造振興株式会社

## 事業の概要

地域材利用は、在来工法木造住宅への供給が大宗を占めていますが、新設住宅着工におけるそのシェアは、減少傾向にあります。地域の森林整備を進めるためにも、地域材の利用を飛躍的に拡大していく必要があり、本事業は住宅分野における新たな市場の開拓による地域材の利用拡大を図ることを目的としております。

この観点から、既存住宅に対しての耐震性や省エネルギー性の向上を図るための部材の開発、普及を行うことを目的として、地域材の利用拡大に寄与する新製品の企画を公募し、先導的な技術等を導入した優れた提案について、木構造振興(株)(以下、「木構振」という。)と提案者との共同により製品化を行います。

公募期間は、平成22年6月21日～7月20日です。

## 対象事業等

### (1) 対象となる新製品企画

地域材を使った既存住宅の高耐震性・省エネルギー性製品(壁、床、開口部など)の企画を対象とします。

### (2) 対象となる新製品企画の条件

提案される新製品企画は、次の全ての要件に該当するものであることが必要です。

既存住宅の高耐震性・省エネルギー性を向上せしめるための新製品企画であること。

地域材(主にスギ、ヒノキ等の人工林材を対象とします)を活かしたものであり、地域材の需要拡大に高い効果が期待できるものであること。

先導的な技術等が導入され、創意工夫を含むものであること。

高耐震性、省エネルギー性に求められる基本性能を持った製品化を目指すものであること。

平成23年2月末までに完了できるものであること。

### (3) 対象応募者

応募にあたっては、製品開発時において住宅関連業者(販売業者、施工業者)の協力体制が確保されていることまたは予定があることが条件となります。(住宅関連業者による提案の場合を除きます。)

応募した製品企画が採択されますと、その企画について木構振との共同開発契約を行い、製品化を行って頂くことになります。

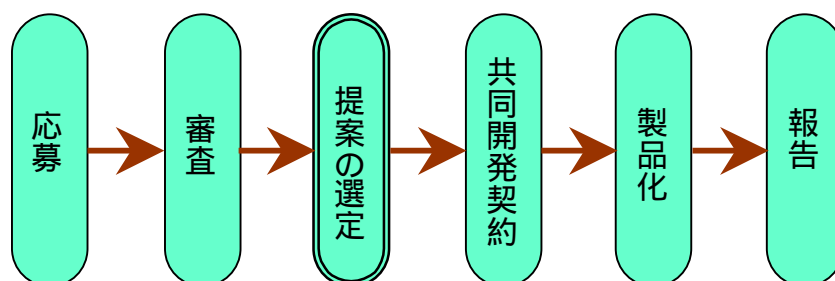
### (4) 木構振による開発経費の負担

開発者に対して木構振が負担する金額は3百万円を限度とします。

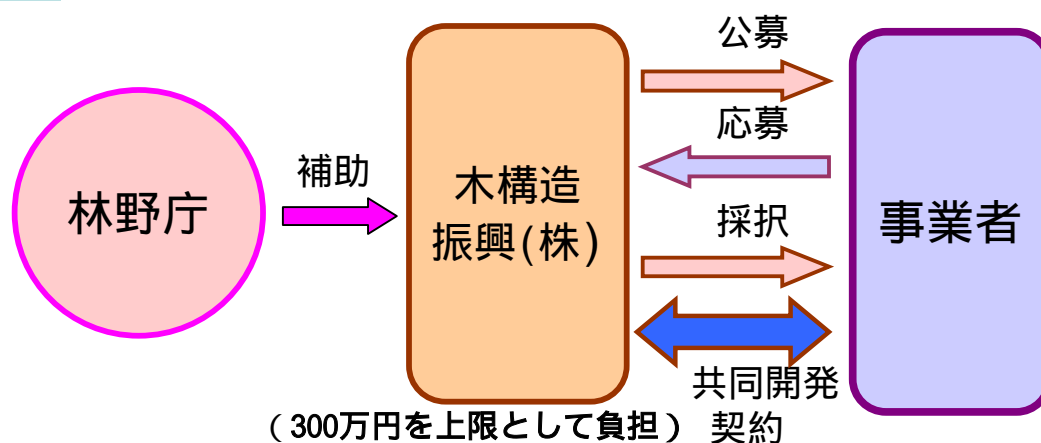
なお、負担する金額については、予算枠等を踏まえ、応募申請額に対して調整の上、決定させていただきます。

詳細については、住宅分野への地域材供給シェア拡大総合対策事業(既存住宅の高耐震性・省エネ性部材の新製品開発)募集要領をご覧ください。

## 事業の流れ(応募者の主な手続き)



## 実施スキーム



## 実施状況 (H21年度の開発事例)

断熱内装ドア



デンドロライトを用いた内装ドア (株)ヤマガミ

木・アルミ複合断熱窓



カバー工法による断熱改修用木・アルミ複合サッシ  
飯田ウッドワークシステム(株)

### 募集要領の入手・問い合わせ先

木構造振興(株)

電話番号: 03-3585-5596 FAX: 03-3585-5598 (担当: 高橋、品川)

メールアドレス: jigyou@mokushin.com

ホームページ: <http://www.mokushin.com>